

令和5年12月20日

保護者様

浜松市立開成中学校

校長 吉田 拓司

～ 令和5年度 第2回学校評価報告 ～

第2回学校評価の御回答、ありがとうございました。多くの保護者の皆様から御回答いただきました。また、『学校教育に期待されること』の記述欄では31名の保護者の皆様から御意見をいただきました。教職員にとって励まされる御意見、今後の指導や支援方法を考える必要がある御意見、学校をより良くするための建設的な御意見などがありました。いただいた貴重な御意見を謙虚に受け止め、3学期及び来年度の開成中学校の取組に生かしていきたいと思っております。以下に学校評価結果及び主な御意見をまとめましたので御覧ください。今後も開成中学校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

◎学習面について

| 設 問 | 肯定的な回答の割合 |
|-------------------------------------|-----------|
| 学校は、分かりやすく、学ぶ楽しさを感じさせる授業を行っている。 | 83% |
| 学校は、生徒の実態や理解に応じた学習の支援を行っている。 | 73% |
| 学校は、学習習慣を身に付けるために具体的な指導を行っている。 | 72% |
| お子さんは、家庭で毎日1時間以上学習に取り組んでいる。(宿題や塾含む) | 59% |

【御意見】

- ・もう少し全体的に学力UPするような教育をしてほしいです。
- ・学ぶことが面白いと思える授業をしてほしい。
- ・インフルエンザやコロナなどで休んだ授業内容を補う方法を考えてほしい。
- ・課題をもっと増やして、勉強に取り組む環境づくりをしてほしい。
- ・勉強についていけない生徒の補習にもっと力を入れてやってほしい。

→ 「学ぶことが面白いと思える授業」を目指し、授業に関する研修や自己研鑽を通して、教師の一層の授業力向上を図っています。また、授業構想の工夫や生徒同士による対話的な学び等を効果的に取り入れ、「生徒の興味関心をより引き出す授業」や「できた、分かったがあふれる授業」も目指していきたいと思っております。併せて、宿題等の課題も、生徒の状況を見て必要に応じて課していくと同時に、「学び方」についても指導をしていきたいと思っております。また、学びの継続という観点から、感染症等の関係で欠席をしている生徒に対して、ICT技術を活用した授業配信を検討・実施していく方向です。

保護者の皆様におかれましては、学習に取り組んでいるお子さんを見守り励ますなど、温かい御支援、御協力をお願いします。

◎生活面について

| 設 問 | 肯定的な回答の割合 |
|---|-----------|
| 学校は、生徒が落ち着いて学ぶことができる環境である。 | 89% |
| 学校は、正しい判断力を身に付けるための指導を行っている。 | 86% |
| 学校は、学級・学年活動、生徒会活動、縦割り活動、部活動などを通して、集団づくりができています。 | 94% |
| 生徒は、生活・行事・部活動などの様々な場面で、やるべきことに夢中になって取り組んでいる。 | 88% |

【御意見】

- ・安全な環境で落ち着いて学習できること。
- ・周りの子を困らせたり不快な思いをさせたり、言動が乱暴な行動に対して、全体的にだけでなく個人的にも対応をしていただきたい。
- ・すべての生徒が、希望をもって、次のステップに向かえる環境づくり。
- ・他者との関わりを通じた学びや、コミュニケーション能力などを身に付けていける場であってほしい。
- ・何事にも一生懸命に頑張るとともに素直な心を持ち、楽しく学校生活を送れること。

→ 中学校では、学級・学年活動や生徒会活動、行事や部活動などを通して、より良い集団となるよう指導・支援を行っています。体育大会や文化発表会などの行事では、本番だけでなく練習の時から、リーダーが集団を引っ張り、フォロワーがリーダーを支える姿を数多く見ることができました。今後も、教育活動の中で様々な役に挑戦する機会を作り、集団だけでなく個人の成長も促していきたいと思います。生徒の成長には個人差がありますが、3年間の中学校生活の中で、人との関わり方や距離感、相手への伝え方といったコミュニケーション力をつけていきたいと考えています。

| 設 問 | 肯定的な回答の割合 |
|---|-----------|
| 学校は、行事や縦割り活動など異年齢の生徒が触れ合う機会を増やし、人間関係を耕す取り組みに努めている。 | 94% |
| 学校は、生徒一人一人の居場所づくりや互いに認め合う雰囲気づくりを通して、いじめが起きにくい環境づくりに努めている。 | 83% |
| 学校は、生徒へのアンケートなどを通して、いじめの早期発見や把握に努めている。 | 87% |

→ 昨今、SNSなどを中心に人間関係トラブルが増加しています。スマホなどの情報機器の使い方については、学校でも指導をしますが、御家庭でもルールを確認するなど、再度お子さんと使い方を話し合う場をもつようにしてほしいと思います。また、問題行動やいじめ等については、学年や学校といった組織で対応・指導・支援していきます。今後も、生徒の声を聞き共に考え、誰もが学校生活を安全に安心して過ごすことができるような学校を創り上げていきたいと思っています。

◎部活動について

【御意見】

- ・早く地域移行をしてほしい。
- ・個々の能力を判断して、相応の練習や舞台に立たせるべき。

→ 浜松市教育委員会内の地域クラブ協議会で、部活動の土日の地域移行について協議を行っています。協議の内容等は、「はままつ地域クラブ活動だより」としてまとめられ、さくら連絡網経由で保護者の皆様に情報が届くようになっていきます。土日の地域移行に関する日程や方向性については、浜松市教育委員会指導課にお問い合わせください。

各部の活動等についての質問や御要望は、各部顧問にお問い合わせください。

◎その他

【御意見】

- ・集団の中で自他の違いや個性をお互いに尊重し認め合い、自分と同じくらい他人の命を大切にできるような心を育てる教育を期待します。
- ・どのような特徴を持つ子でも、良い部分を伸ばしてあげ、自信をつけさせ、生きていく力、筋道を見つけてあげてほしい。
- ・入学してから3年間、学習面でも生活面でもたくさんの先生が気にかけてくださり、手厚いなど感じています。担任の先生はもちろん、顧問の先生や校長先生、各教科の先生が頑張りを認めてくださり褒めてもらえた！と本人が嬉しそうに話してくれるので、生徒一人一人が大切にされている学校でよかったと思います。

→ 各教科の授業内での話し合い活動や道徳での多面的、多角的な思考、行事等の集団活動を通して、個性の違いや互いを認め合う雰囲気醸成しています。また、自己肯定感を高めるために、自分の取組を振り返る場を設け、自分の良さや頑張りを認識させています。今後も、このような活動や取組を継続して、自他を大切にできる生徒や困難にも負けず粘り強く取り組むことができる生徒を育成していきたいと思っています。

「ありがとうが響く学校」「来るのが楽しい学校」を合言葉に教育活動を行っています。今後も一人一人を大切に、一人一人が幸せになることを目指して進めてまいります。